



私たちはこの笑顔を守ります



『豊小学校最後の運動会』



## 令和5年第3回対馬市議会定例会(9月定例会)の概要

令和5年第3回定例会が9月12日から9月27日(16日間)の日程で開かれ、37件の提出議案について審議されました。

一般質問は8人が登壇し、活発な議論が展開されました。

高レベル放射性廃棄物の最終処分に係る文献調査等の受入に関する8件の請願については、初日の9月12日に請願審査特別委員会の審査報告があり、採択、不採択が決定されました。

【8ページに関連記事】

### 主な議案

承認(予算) 1件 (令和5年度対馬市一般会計補正予算(第3号))	→	承認
予算案 2件 (令和5年度対馬市一般会計補正予算(第4号)ほか)	→	全件可決
条例案・条例改正案 3件 (対馬市税条例の一部を改正する条例ほか)	→	全件可決
報告 7件 (令和4事業年度公益財団法人厳原愛育会経営状況報告についてほか)		
認定 8件 (令和4年度対馬市一般会計歳入歳出決算の認定についてほか)	→	閉会中の継続審査
議決案 2件 (辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画についてほか)	→	全件可決
請願(継続審査分) 8件 (高レベル放射性廃棄物最終処分場に係る文献調査受け入れ反対に関する請願書 特定放射性廃棄物の最終処分にかかる文献調査受け入れの促進についてほか)	→	採択2件・不採択6件
決議案 1件 (議会改革特別委員会の設置に関する決議)	→	可決
その他 5件 (核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書ほか)	→	全件可決、採択

※ 議案、審議結果は対馬市議会ホームページに掲載しています。

議案



審議結果



### 12月定例会のお知らせ

令和5年第4回定例会は、12月上旬に開催を予定しています。  
※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。





### 総務文教常任委員会審査報告

委員長 陶山 莊太郎

#### ◎付託された案件(4件)

①令和5年度対馬市一般会計補正予算(第4号)

②義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について

③ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について

④対馬市議会議員及び対馬市長の選挙における選挙用自動車の使用等の公営に関する条例

#### ◎審査内容

##### 【補正予算】

##### ◆総務費

離島航路燃油高騰対策事業負担金

ほか

##### ◆商工費

施設維持管理費

##### ◆消防費

施設維持管理費 ほか

##### ◆教育費

久田小学校改修工事費及び監理委託料 ほか

##### 【請願】

義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること等を国に求める意見書提出を請願するもの。

##### 【条例】

立候補の機会や候補者間の選挙運動の機会均等を図るため、市議会議員及び市長選挙における運動用自動車の使用等の公営に関し必要な事項を定めたもの。

### 厚生常任委員会審査報告

委員長 島居 真吾

#### ◎付託された案件(1件)

①令和5年度対馬市一般会計補正予算(第4号)

#### ◎審査内容

##### 【補正予算】

##### ◆総務費

原動機付自転車オリジナルナンバープレート製作費、特別徴収税額通知(納税義務者用)の電子化対応業務委託料 ほか

##### ◆民生費

医療扶助オンライン資格確認対応システム改修委託料、豊玉こども園建設事業費 ほか

##### ◆衛生費

上対馬病院建替えに伴う住民アンケートに係る通信運搬費、対馬クリーンセンターの燃料費、運動コーデイネーター事業に係る人件費 ほか

### 産業建設常任委員会審査報告

委員長 坂本 充弘

#### ◎付託された案件(1件)

①令和5年度対馬市一般会計補正予算(第4号)

#### ◎審査内容

##### 【補正予算】

##### ◆農林水産業費

肥料価格高騰対策事業補助金、森林環境譲与税活用事業補助金 ほか

##### ◆商工費

## 議員定数調査特別委員会が設置されました

令和5年9月27日に議員定数調査特別委員会が設置されました。今後、議員定数について市民の皆様のご意見を募集する予定です。

#### 【議員定数調査特別委員会】

委員長	春田 新一	副委員長	糸瀬 雅之
委員	神宮 保夫	委員	入江 有紀
委員	船越 洋一	委員	小島 徳重
委員	小宮 教義	委員	大浦 孝司

◆観光パンフレット等印刷製本費、対馬市アンテナショップ(よりあい処つしま)記念イベント開催委託料 ほか

◆土木費

◆各種道路改良事業費 ほか

◆災害復旧費

令和5年6月、7月豪雨による林業施設及び漁港施設の復旧に係る工事費等ほか

# 市政を問う

8名の議員が一般質問



入江 有紀 … P 4	糸瀬 雅之 … P 5	小島 徳重 … P 5
伊原 徹 … P 6	坂本 充弘 … P 6	大浦 孝司 … P 7
船越 洋一 … P 7	脇本 啓喜 … P 8	



入江 有紀議員

(入江) 一般質問に入ります前に、市長、あなたは2期目も終わりがけになっていますが、何一つ功績を残していただけませんでした。2期にわたって対馬市の衰退を見てくるだけだったように思います。私は、この状況を救うのは市長の意思だと思いますが、私達も、この島の現状をどうしても見ておれないので、一生懸命頑張りました。どうかこの島を守ってください。お願いします。

**◆高齢者の交通手段について**

(入江) のぐちクリニック前のバス停について、何回も言ってきたが、標識だけは移したが、屋根の部分はそのままである。移すのはいつごろか。(市長) 県が歩道改修するときの用地取得時等の条件により、今のところは設置できない。

い。  
(入江) 70歳以上のバス代無償化について

(市長) 運営自体が大変厳しい状態であり、市から1億3千万円入れているので、無償化は無理。

(入江) 免許証返納された高齢者の交通手段について

(市長) 現時点では無償化は難しい。

(入江) 地区の交通手段については、ライドシェア制度を設けたらどうか。  
(しまづくり推進部長) そのような時期が来れば検討していきたい。

**◆対馬クリーンセンター中部中継所について**

(入江) 会計年度任用職員の給料がきつい仕事とそうでない仕事と同じ給料であるが、あまりにもひどすぎないか。  
(総務部長) 法律に基づき、業種に応じて市の条例で定められており、現状のまま変更する予定はない。



糸瀬 雅之議員

◆対馬市の財政計画について

(糸瀬) 対馬市中期財政計画(令和3～7年度)の現在までの成果と、今後の自主財源確保の課題、歳出削減の具体的な事業は何か。

(市長) 自主財源が乏しい本市においては、今後も財政状況は厳しさを増すことが予想される。令和4年度末の財政調整基金と減債基金の残高は、76億7千万円、地方債残高は約413億4千万円となっている。自主財源確保については、市税収入の安定的な確保、企業誘致や地場産業への支援、ふるさと納税制度の推進に努める。その他に公有財産の有効活用や国際ターミナルの使用料の見直しを進めていく。歳出の削減については、まず事務事業の見直しを図り、計

画的な公共施設の廃止・集約・複合化、その他にも施設管理業務委託内容や運営方法の見直しなど着実に歳出の削減に努めていく。

◆航路・航空運賃の低廉化について

(糸瀬) お盆、年末年始の期間だけでも島外在住の対馬出身者、観光客の島民割引制度の導入ができないか。

(市長) 関係する離島の市町と今後も意見・情報交換等を実施しながら国、県へ要望を行っていく。

◆水産振興について

(糸瀬) アナゴ生産者に対する支援対策について

(市長) 燃油価格の高騰や餌料の急激な高騰などコスト増大の影響を受け、漁家経営にとって厳しい現状であると認識している。このため特に緊急・重要性が認められる内容については、財源確保に努め、幅広く効果的な支援に繋がるよう努めていく。



小島 徳重議員

◆SDGs未来都市計画について

(小島) 計画のビジョンは市民に浸透しているか。

(市長) 徐々にではあるが市民にも共有され、浸透してきている。市のホームページ、CATV、広報紙で広く周知している。

(小島) ビジョンが市民の間に徹底していたら、商工会や建設業団体の核ごみ処分場誘致の請願は出なかったのではないか。

(小島) ビジョン共有のためにはどのような施策を実行しているか。

(市長) 対馬高校のESD対馬学、学校でのSDGsに関する学校教育支援、対馬グローカル大学を通じた人材育成に取り組んでいる。

対馬SDGsパートナー制度を設け、企業、団体等の登録を推進している。

企業との連携では、関西経済同友会等との連携協定に基づく対馬モデルを推進している。漂着ごみを活用した新ビジネスを生み出し、大阪・関西万博で世界に発信したい。

毎月17日にSDGsカフェを開催し、アイデアを出し合っている。

◆せんだんごの品不足解消について

(小島) 「せん」が不足し「ろくべえ」などの郷土料理が飲食店等で欠品になっている。「そば」と同様、生産者に補助すべき。

(市長) 対馬特有の貴重なせんだんご技法を守っていくために、行政としての支援も必要。せんだんごの価値を高め、利益につながる仕組みづくりが必要。関係機関と連携して取り組む。





伊原 徹議員

◆本市の核ごみ関連報道に対する反響と今後の考えられる対策

(伊原) 観光産業、特に関連事業への影響は。

(市長) どのような事業がどの程度の影響があるか、現時点では想定できない。想定が必要な場合は、関係者の意見等を踏まえ、調査・検討を行いたい。

(伊原) 東京・関西・福岡対馬会員の反応は。

(市長) 東京・関西対馬会総会に参加したが、核のごみ問題は様々な意見がある。素晴らしい自然・文化を残すため誘致すべきではないことと、将来の対馬の経済対策として誘致すべきとの意見も上がった。さらに、対馬出身者や対馬への観光客から、手紙や電話など多くのご意見が寄せら

れている。

(伊原) 核のごみに対する市民感情は。

(市長) 対馬市の将来のことを考え、市民から多くのご意見を頂いている。市としては、推進する立場、反対の立場の意見を参考に、放射性廃棄物処理の認識を深め、文献調査賛否の判断を行いたい。

(伊原) 市役所へのクレーム受理の実態は。

(市長) 放射性廃棄物問題報道後、5件から10件程度ご意見があった。廃棄物処理は日本全体の問題であり、対馬市でご検討いただきたいのご意見や、農林水産業や観光業等の風評被害や自然文化を損ねるなどの反対意見もある。

(伊原) クレーム全般に対する専門部署の創設は。

(市長) 現在、総務課で対応しているが、業務が増えていくことは事実である。今後、様々な状況や動向により、専門部署設置の検討も考えられる。



坂本 充弘議員

◆市長選3選出馬の決断について

(坂本) 対馬市は諸問題が山積している。是非、3選出馬を決断願いたい。

(市長) 対馬市は人口減少対策、産業の振興育成など課題が山積。また、市の将来を左右する高レベル放射性廃棄物最終処分場調査受け入れの件は多くの議論があり、非常に難しい問題。市の将来を見据え、出馬に向けて前向きに検討している。

◆国・県道の早急な整備について

(坂本) 観光客の増加により大型バス等の運行が急激に増大している。早急な整備が必要だが進捗状況について伺う。

(市長) 平成28年度に国・県道路等整備促進特別委員会で

とりまとめた要望事項に基づき整備を進めている。国県道15区間の道路工事や危険箇所の災害防除工事を行っている。県と協議を重ね事業進捗に協力し強靱化に努めていく。

◆旅行者等に対するごみの回収方法について

(坂本) 旅行者等のごみが後を絶たない。サイクリングの人は弁当を食べても処分する所がない。ごみ箱を設置するか、何らかの対策が必要では。

(市長) 広報やCATVで啓発を図り、監視パトロールを実施。基本的に持ち帰ることが前提で宿泊所か港のターミナルで処分して頂く。マナー遵守の呼び掛けを様々な媒体を通じて継続していく。

(坂本) 引き取る場所が確立されていない。対馬市はSDGsごみゼロ宣言をしていると思うが。

(市民生活部長) 「ごみゼロアイランド対馬宣言」をしている。我々も具体策を協議していく。



大浦 孝司議員

◆金石城跡地の活用について

(大浦) 7月中旬頃、観光バス会社の関係者より、市役所前の市道で大型バスの客の乗降について、警察の取り締まりがあったとの話である。市議会で過去2回ほど旧厳原幼稚園跡の駐車スペースの確保について、一般質問で要望があったが、合意に至っていない。前に進まない本当の理由について尋ねたい。

(教育長) 9月12日に委員会が開催され、次のようなご意見を4ついただいている。大手門広場は登城するときの道として整備された貴重な遺構が残る空間である。2つ目は金石城跡の中で最も防御力を高めた空間であり、むしろ積極的にその価値を発信し、見学者に見てもらおう空間である。

3つ目はバス乗降場として活用する案に了承することはできない。最後に文化庁からは指定地内に便益施設を整備することに不可という指導を受けているとのこと。

(大浦) 結論としては駐車スペースとしては認められないとのことか。しかし、ホテル建設も増し、国内、韓国から今まで以上の観光客の流入が見込まれ、観光業は基幹産業としてさらに拡大し、場合によっては近い将来、水産業をしのぐ勢いを感じるところである。駐車スペースを確保できない限り大きく前に進むことはできない。このようなことであれば、市役所の庁舎移転構想を早期に確立するべきである。市長はどのように思うか。

(市長) 委員会との協議を再度行う。庁舎移転についてはコメントは控えたい。



船越 洋一議員

◆島内の企業誘致の現状と今後の企業誘致計画について

(船越) 韓国企業でバイオマス発電と関連事業を計画している企業があり、事業費約20億円、雇用48名を見込んでいるが、誘致する考えはあるか。

(市長) 今後は企業誘致に係る指定基準の緩和をはじめ、12月定例会で議案上程に向けて準備を進める。また、韓国企業が対馬に進出するには、現地法人を立ち上げたうえで事業を開始していただくことで進めることとしている。

◆釜山、対馬間の活魚貿易について

(船越) 6月の一般質問で前向きな答弁であったので、7月24日から26日にかけて平川水産課長同行のもと、釜山の水産関係商社と協議をしてきた。

平川水産課長から報告が上がっていると、市長は今後の対応をどう考えるか。

(市長) 6月定例会で早急に研究すると答弁していた。7月末の議員による釜山視察に市職員を同行させ、韓国の漁業情勢等について意見交換を実施してきた。それをもとに、今後は主体者となる地元漁協の関係者の意向を伺いながら、その可能性について幅広く研究していく。

◆久田川河口および、厳原本川河口(中矢来)の浚渫について

(船越) 厳原本川(中矢来)は金石川から流れてくる雑排水等で悪臭を放ち、地域住民が大変迷惑をしている。また、久田川も河口に土石が堆積しているため早急な対応が必要である。

(市長) これらはいずれも県事業であるため、対応を県に強く求めていく。



脇本 啓喜議員

◆財政規律の遵守とEBPMの徹底について

(脇本) 財政規律に基づいた財政政策・正確なデータ分析と客観的事実に基づいた政策立案について

(市長) 財政健全化比率等からみても健全な財政運営が図られているが、乏しい自主財源確保に向けて、企業誘致や地場産業への支援を図る。計画的な公共施設の廃止、集約複合化、長寿命化などを促進し管理経費の縮減や標準化を行う。

(脇本) データや証拠に基づく政策立案の浸透状況について

(市長) 各部署で実施中のPDCAの各段階で、適宜評価・検証を行いながら、機動的かつ柔軟な政策見直しにも取り組む。

◆DX推進とデジタル市役所の構築について

(脇本) 市のDX進捗状況と今後の展望について

(市長) 情報化統括補佐官を民間から招聘し、若手職員を選抜し市役所全体にDX推進への理解を促進している。ペーパーレス化、電子決裁を推進し、どこでも仕事ができる環境を構築するため無線化を促進中。また、SIM付きPC導入を検討中。

(脇本) デジタル市役所の構築により、本庁舎はコンパクト化が可能。本庁舎新築予算削減予算の有効活用について

(市長) DXを進める上で、正規の職員でなければだめな業務と非正規職員あるいはアウトソーシングでもやれることを明確に区別することが重要。正規職員にもっと有意義な仕事をさせたいという点は脇本議員と一致している。デジタル市役所化による建設費削減可能額は、まだ見積もっていない。

請願の採決について 【高レベル放射性廃棄物の最終処分に係る文献調査等に関する請願】



令和5年第2回定例会において、請願審査特別委員会に付託され、閉会中に継続審査を行っていた『高レベル放射性廃棄物の最終処分に係る文献調査等に関する請願』8件について、令和5年第3回定例会の本会議(9月12日)において船越委員長から委員会の審査報告がされました。その後、報告に対する質疑、討論、採決が行われ、以下のとおり決定されました。

議会の議決は

請願第1号	高レベル放射性廃棄物最終処分場に係る文献調査受け入れ反対に関する請願書	不採択
請願第2号	高レベル放射性廃棄物最終処分場文献調査誘致反対に関する請願	不採択
請願第3号	高レベル放射性廃棄物最終処分場文献調査誘致反対に関する請願	不採択
請願第4号	高レベル放射性廃棄物の最終処分に係る文献調査の実施反対に関する請願書	不採択
請願第5号	高レベル放射性廃棄物の最終処分場建設に向けた文献調査に対馬市が応募をしないよう求める請願	不採択
請願第6号	特定放射性廃棄物の最終処分にかかる文献調査受け入れの促進について	採 択
請願第7号	特定放射性廃棄物の最終処分に係る議論検討を求める請願について	採 択
請願第9号	高レベル放射性廃棄物最終処分場文献調査誘致反対に関する請願	不採択

市長の見解は

定例会最終日に比田勝市長から、高レベル特定放射性廃棄物の最終処分に係る文献調査等については、応募をしないと報告がありました。



## 所管事務調査報告

### 総務文教常任委員会

委員長 陶山 荘太郎

調査日 令和5年8月28日

#### 学校給食の課題と対策

##### 学校給食会事務局

#### ●学校給食会の事務内容

①市内6か所の学校給食共同調理場の運営・管理

②学校給食の実施とその一般事務

③その他、学校給食に必要な事項

#### ●事業における課題

①雇用条件の改善

②職場環境の改善

③人員不足(上対馬3名)

#### ●課題に対する取組

①給料表(初任給増・昇給あり)と休暇(年休増)制度の改正

②ハラスメント調査と面談及び、衛生管理等研修会の実施(予定)

③異動希望調査と派遣の実施及び、米飯の外注

#### ◆委員からの意見

①二度と給食を休止しないための、原因の把握と適切な対策

②他町からも募集するなど、更なる人員の確保

#### いじめと不登校対策

##### 教育委員会事務局学校教育課

#### ●いじめの現状

①近年は、年間20件以下で推移し、全件を解消

#### ●いじめの課題

SNSなどでのトラブル、集団での無視な

ど、多様ないじめが大人の目の届かないところで発生

#### ●課題に対する対策

①「いじめ防止方針」の公開

②人権教育及び教育相談・生活アンケートなどの充実

③積極的な認知と校内指導体制の整備・充実

#### ●不登校(年間30日以上欠席)の現状

近年は、年間40名ほどで推移(夏休み以降に増加傾向)

#### ●不登校の課題

①同一家族での事案や福祉などとの連携が必要な事例の増加

②スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーが少なく早期対応が困難

③教育支援センターに通所困難な児童・生徒への対応

#### ●課題に対する対策

①小・中学校間の連携強化

②教育相談のスキルアップを推進

③タブレットを活用した双方向型学習支援の推進

④保護者への環境改善情報と支援の提供

#### ◆委員からの意見

①県の支援による対応体制の拡充

②保護者、学校及び教育委員会の垣根を取り払った連携体制の構築。

### 厚生常任委員会

委員長 島居 真吾

調査日 令和5年8月17日

#### グループホーム(認知症対応型)の実態

##### グループホーム峰の杜

#### ●入所者・職員数

入所者8人(入所待機者28人)

職員8人

#### 海岸漂着ごみの現状

##### 市民生活部環境政策課

#### ●海水浴場の現状

①湊浜海水浴場について、数少ないウミガメの産卵場所であるが、近年、漂着ごみ等に覆われウミガメが産卵に上がることができない。

②井口浜海水浴場について、7月に海岸清掃を実施したが、8月の台風の影響もあり発泡スチロール等が打ち寄せている。

#### ●海岸漂着ごみの再資源化

対馬クリーンセンター中部中継所において発泡スチロールを細かく粉砕し、その一部を素材とした買い物かご等のリサイクル商品が作られている。

#### ●再資源化による効果

①漂着ごみの処分費、海上輸送費の削減

②企業との連携により作られたリサイクル商品が対馬のPRになる。



中部中継所で説明を受ける



リサイクル商品

# 所管事務調査報告

## ◆委員からの意見◆

対馬の漂着ごみの現状を知ってもらいた  
め、対馬市の取組、ビデオメッセージ等  
を、対馬市・比田勝港国際ターミナル等  
で流  
してはどうか。

## 産業建設常任委員会

委員長 坂本 充弘

調査日 令和5年8月18日

## 厳原港国際ターミナルビル建設事業

建設部管理課・建設課

### ●目的

国内航路及び国際航路の埠頭再編により  
国際航路の待合所を整備

### ●効果

①国内線と国際線のすみ分けが図られ、人  
の動線及び車の動線が明確

### ●経過

- ①平成26年度 基本設計
- ②令和元年度 地質調査・実施設計
- ③令和2年度 旧国  
内ターミナル屋上  
防水工事
- ④令和3年度 実施  
設計

### ●工事期間

①増築棟  
令和5年10月31日  
まで

②改修棟  
令和5年12月25日  
まで



建設現場で説明を受ける

## ◆委員からの意見◆

- ①出国審査待合ホールの広さや入国審査待  
合ホールのトイレが不足
- ②大型建設事業における予算計上時の図面  
提供をしてもらいたい。
- ③対馬産木材の積極的な使用促進を図って  
もらいたい。

## 漁業の現状と課題

農林水産部水産課

### ●現況

- ①地球温暖化の影響を受け、海洋環境の悪  
化等による水産資源の減少
- ②TAC制度による漁獲制限
- ③漁業者の高齢化及び後継者不足
- ④長引く燃油高騰や輸送コスト増大
- ⑤マグロ養殖やアナゴかご漁業等の餌料高騰
- ⑥磯焼けの拡大による植食性動物の複合的  
な要因により、大型褐藻類の壊滅

### ●取組

- ①持続可能で、魅力的なもうかる漁業の推進
- ②アナゴかご実行組合、対馬水産業普及セン  
ター、総合水産試験場の連携による、安価  
で効率的な代替餌の調査研究
- ③餌料経費の支援も視野に入れながら適切  
な対応に努めていく。

## ◆委員からの意見◆

- ①水産物販売のプロジェクトチームをつく  
り、韓国への輸出を計画してみてもどうか。
- ②対馬アナゴはブランド魚として確立して  
いる。アナゴかご漁業とクロマグロ養殖の  
餌料について、是非、補助金等の支援をし  
てもらいたい。

## 編集後記

家庭を直撃する原油価格や物価高騰  
で市民の皆様も、大変なことと思われ  
ます。

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、  
すっかり秋らしくなり、野山には女郎花  
彼岸花、だん菊が咲き乱れ、秋の訪れ  
が感じられます。

私達、議会広報編集特別委員も2年  
で交替になり、新メンバーになって2  
度目の議会だよりです。

皆様に読みやすい議会だよりを発行  
しようと頑張っています。皆様のご意  
見も取り入れ、より良い議会だよりを  
作っていききたいと思っています。お気  
づきの事がありましたら、どしどしご  
意見をお聞かせください。

2年間このメンバーで頑張ります。  
よろしくお願いたします。

(文責…入江有紀)



議会広報編集特別委員会  
〔委員長〕 陶山 莊太郎  
〔副委員長〕 入江 有紀  
〔委員〕 神宮 保夫  
島居 真吾  
小島 徳重  
小田 昭人